

横浜

横浜総局

〒231-8504

横浜市中区日本大通15

☎ 045-681-6101

fax 045-641-9696

mail kanagawa@
asahi.com

田園都市支局

〒225-0011

横浜市青葉区あざみ野2-12-5

☎ 045-904-9010

fax 045-904-9020

川崎 ☎ 044-244-4306

厚木 ☎ 046-221-3300

湘南 ☎ 0466-26-4911

横浜 ☎ 046-822-0211

鎌倉 ☎ 0467-22-0123

小田原 ☎ 0465-32-3822



利用者はスマホの画面でも薬の情報を確認できる＝ソニー提供

電子版お薬手帳 川崎全域で試行

来月からソニーなどと開始

川崎市とソニー、市薬剤師会は、ICカードを使った「電子版お薬手帳」の試験サービスを市内全域で始める。カードで薬の使用状況を記録し、複数の医療機関を受診しても、薬の重複や飲み合わせの副作用を避けられるようにする。12月から順次サービスを導入し、2015年3月まで試行を続ける。

利用者は薬局で申し込み、氏名や生年月日などを暗号化して登録したカードを無料で受け取る。薬局に置かれた専用端末にカードをかざすと、薬剤師がタブレットで過去の履歴を確認した上で、処方する。

利用者はスマートフォンで記録が確認できる。副作用が出た場合には自ら入力して記録に残し、薬局が把握できる機能もある。

登録すれば、家族のデータもスマホから見られる。

お薬手帳は、複数の病院で処方された薬の情報を一元管理するために生まれた。ただ、紙の場合、忘れてしまったり、紛失したりで蓄積が難しかった。

カードなら持ち運びも簡単だ。薬の情報はサーバーに、氏名などはカードに保存されるため、万が一、サーバーが不正にアクセスされても個人情報の流出のおそれはないという。また、カードをなくしても、再発行したカードとサーバーの情報とを結びつけられる。

川崎市では11年秋から宮前区の20の薬局などで社会実験をしており、約千人が利用している。今年12月から導入範囲を全域に広げ、来年3月までに約120店で実施する。さらに約200店まで広げたい考えだ。

お薬手帳の電子化は、県も5月から藤沢市の病院と薬局で実験に取り組んでいる。薬局が患者に渡す紙にQRコードを記載し、スマホで読み取ると、処方された薬の効能や服用回数記録できる。

(河井健)